

## 【インタフェース仕様書（都道府県編）】

項番	項目	属性 (※2)	バイト数	内容	必須入力 (※1)	備考
111	福祉・介護職員処遇改善特別加算の有無	コード値	1	福祉・介護職員処遇改善特別加算の有無をコードで設定	◎	1：無し 2：有り ※5 ※18
112	緊急短期入所体制確保加算の有無	コード値	1	緊急短期入所体制確保加算の有無をコードで設定	◎	1：無し 2：有り ※5 ※18
113	栄養士配置減算の有無	コード値	1	栄養士配置減算の有無をコードで設定	◎	1：無し 2：非常勤栄養士減算 3：栄養士未配置減算 ※5 ※18
114	就労定着実績区分	コード値	1	就労定着実績区分をコードで設定	◎	※5 ※18 ※27
115	宿泊型自立訓練夜間防災・緊急時支援体制加算（I）の有無	コード値	1	宿泊型自立訓練夜間防災・緊急時支援体制加算（I）の有無をコードで設定	◎	1：無し 2：有り ※5 ※18
116	職業指導員体制の有無	コード値	1	職業指導員体制の有無をコードで設定	◎	1：無し 2：有り ※5 ※18
117	重度知的障害児収容棟設置の有無	コード値	1	重度知的障害児収容棟設置の有無をコードで設定	◎	1：無し 2：有り ※5 ※18
118	肢体不自由児施設重度病棟設置の有無	コード値	1	肢体不自由児施設重度病棟設置の有無をコードで設定	◎	1：無し 2：有り ※5 ※18
119	心理担当職員配置加算の有無	コード値	1	心理担当職員配置加算の有無をコードで設定	◎	1：無し 2：有り ※5 ※18
120	小規模グループケア加算の有無	コード値	1	小規模グループケア加算の有無をコードで設定	◎	1：無し 2：有り ※5 ※18
121	児童発達支援管理責任者専任加算の有無	コード値	1	児童発達支援管理責任者専任加算の有無をコードで設定	◎	1：無し 2：有り ※5 ※18
122	障害児施設区分	コード値	1 2	障害児施設の区分をコードで設定	○	※C ※5 ※18 ※28

項番	項目	属性 (※Z)	バイト数	内容	備考
111	福祉・介護職員処遇改善特別加算の有無	コード値	1	福祉・介護職員処遇改善特別加算の有無をコードで設定	1：無し 2：有り
112	緊急短期入所体制確保加算の有無	コード値	1	緊急短期入所体制確保加算の有無をコードで設定	1：無し 2：有り
113	栄養士配置減算の有無	コード値	1	栄養士配置減算の有無をコードで設定	1：無し 2：非常勤栄養士減算 3：栄養士未配置減算
114	就労定着実績区分	コード値	1	就労定着実績区分をコードで設定	※3
115	宿泊型自立訓練夜間防災・緊急時支援体制加算（I）の有無	コード値	1	宿泊型自立訓練夜間防災・緊急時支援体制加算（I）の有無をコードで設定	1：無し 2：有り
116	職業指導員体制の有無	コード値	1	職業指導員体制の有無をコードで設定	1：無し 2：有り
117	重度知的障害児収容棟設置の有無	コード値	1	重度知的障害児収容棟設置の有無をコードで設定	1：無し 2：有り
118	肢体不自由児施設重度病棟設置の有無	コード値	1	肢体不自由児施設重度病棟設置の有無をコードで設定	1：無し 2：有り
119	心理担当職員配置加算の有無	コード値	1	心理担当職員配置加算の有無をコードで設定	1：無し 2：有り
120	小規模グループケア加算の有無	コード値	1	小規模グループケア加算の有無をコードで設定	1：無し 2：有り
121	児童発達支援管理責任者専任加算の有無	コード値	1	児童発達支援管理責任者専任加算の有無をコードで設定	1：無し 2：有り
122	障害児施設区分	コード値	1 2	障害児施設区分をコードで設定	※C
123	送迎加算（重度）の有無	コード値	1	送迎加算（重度）の有無をコードで設定	1：無し 2：有り
124	指定有効開始年月日	コード値	8	指定有効開始年月日（西暦年月日（YYYYMMDD））を設定	※Y

項番	項目	属性 (※Z)	バイト数	内容	備考
111	福祉・介護職員処遇改善特別加算の有無	コード値	1	福祉・介護職員処遇改善特別加算の有無をコードで設定	1：無し 2：有り
112	緊急短期入所体制確保加算の有無	コード値	1	緊急短期入所体制確保加算の有無をコードで設定	1：無し 2：有り
113	栄養士配置減算の有無	コード値	1	栄養士配置減算の有無をコードで設定	1：無し 2：非常勤栄養士減算 3：栄養士未配置減算
114	就労定着実績区分	コード値	1	就労定着実績区分をコードで設定	※3
115	宿泊型自立訓練夜間防災・緊急時支援体制加算（I）の有無	コード値	1	宿泊型自立訓練夜間防災・緊急時支援体制加算（I）の有無をコードで設定	1：無し 2：有り
116	職業指導員体制の有無	コード値	1	職業指導員体制の有無をコードで設定	1：無し 2：有り
117	重度知的障害児収容棟設置の有無	コード値	1	重度知的障害児収容棟設置の有無をコードで設定	1：無し 2：有り
118	肢体不自由児施設重度病棟設置の有無	コード値	1	肢体不自由児施設重度病棟設置の有無をコードで設定	1：無し 2：有り
119	心理担当職員配置加算の有無	コード値	1	心理担当職員配置加算の有無をコードで設定	1：無し 2：有り
120	小規模グループケア加算の有無	コード値	1	小規模グループケア加算の有無をコードで設定	1：無し 2：有り
121	児童発達支援管理責任者専任加算の有無	コード値	1	児童発達支援管理責任者専任加算の有無をコードで設定	1：無し 2：有り
122	障害児施設区分	コード値	1 2	障害児施設区分をコードで設定	※C
123	送迎加算（重度）の有無	コード値	1	送迎加算（重度）の有無をコードで設定	1：無し 2：有り
124	指定有効開始年月日	コード値	8	指定有効開始年月日（西暦年月日（YYYYMMDD））を設定	※Y

## 【インタフェース仕様書（共通編）】

項番	コード名称	属性	バイト数	内容												
28	申立事由コード	英数	4	<div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">×1</td> <td style="padding: 5px;">×2</td> <td style="padding: 5px;">×3</td> <td style="padding: 5px;">×4</td> </tr> </table> <p style="margin: 0;">様式番号                  申立理由番号</p> </div> <p>【様式番号（上2桁）】</p> <p>10: 介護給付費・訓練等給付費明細書（様式第二）</p> <p>11: 介護給付費・訓練等給付費明細書（様式第三）</p> <p>12: 地域相談支援給付費明細書（様式第五）</p> <p>20: サービス利用計画作成費請求書（様式第四）</p> <p>21: 計画相談支援給付費請求書（様式第四）</p> <p>30: 特例介護給付費・特例訓練等給付費等明細書（様式第六）</p> <p>31: 特例計画相談支援給付費請求書（様式第十）</p> <p>40: 障害児施設給付費明細書（様式第二）</p> <p>41: 障害児通所給付費・入所給付費等明細書（様式第二）</p> <p>50: 地域生活支援事業明細書</p> <p>60: 障害児相談支援給付費請求書（様式第三）</p> <p>70: 特例障害児通所給付費等明細書（様式第五）</p> <p>71: 特例障害児相談支援給付費請求書（様式第六）</p> <p>【申立理由番号（下2桁）】</p> <p>01: 台帳誤り修正による市町村申立の過誤調整</p> <p>02: 請求誤りによる実績取り下げ</p> <p>09: 時効による市町村申立の取り下げ</p> <p>11: 台帳誤り修正による事業所申立の実績取り下げ</p> <p>32: 提供実績記録票 <span style="background-color: yellow;">取消誤り</span>による実績の取り下げ</p> <p>33: 上限の誤りによる実績取り下げ</p> <p>90: その他の事由による台帳過誤</p> <p>99: その他の事由による実績の取り下げ</p>	×1	×2	×3	×4								
×1	×2	×3	×4													
29	都道府県等番号	コード値	6	<div style="text-align: center; margin-bottom: 20px;"> <table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">×1</td> <td style="padding: 5px;">×2</td> <td style="padding: 5px;">×3</td> <td style="padding: 5px;">×4</td> <td style="padding: 5px;">×5</td> <td style="padding: 5px;">×6</td> </tr> </table> <p style="margin: 0;">↑                                  ↑</p> <p style="margin: 0;">都道府県コード                  下4桁は「0」固定</p> </div> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">×1</td> <td style="padding: 5px;">×2</td> <td style="padding: 5px;">×3</td> <td style="padding: 5px;">×4</td> <td style="padding: 5px;">×5</td> <td style="padding: 5px;">×6</td> </tr> </table> <p style="margin: 0;">↑                                  ↑</p> <p style="margin: 0;">都道府県コード                  0 又はチェックデジット 「0」固定</p> </div>	×1	×2	×3	×4	×5	×6	×1	×2	×3	×4	×5	×6
×1	×2	×3	×4	×5	×6											
×1	×2	×3	×4	×5	×6											
30	金融機関コード	コード値	4	全銀協が定めたコード体系												
31	金融機関支店コード	コード値	3	全銀協が定めたコード体系												
32	口座種目	コード値	1	1: 普通預金 2: 当座預金 3: 別段 9: その他												
33	口座番号	コード値	7	全銀協が定めたコード体系												
34	世帯算定所得区分 ※2、※4	英数	2	01: 生活保護 02: 低所得1 03: 低所得2 04: 一般 11: 生活保護（支給決定保護者以外） 12: 低所得1（支給決定保護者以外） 13: 低所得2（支給決定保護者以外） 14: 一般（支給決定保護者以外）												

## 【インタフェース仕様書（都道府県編）】

### 2. 3. 5 過誤申立書情報（入力情報）

#### (1) 過誤申立書情報

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	過誤申立書情報の識別番号を設定する	◎	※B
2	申立年月日	コード値	8	過誤申立の申立年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	◎	※Y
3	事業所番号	コード値	10	サービス提供事業所番号を設定する	◎	※C
4	証記載都道府県等番号	コード値	6	受給者証証に記載された都道府県等番号を設定する	◎	※C
5	受給者証番号	英数	10	受給者証番号を設定する	◎	※C
6	サービス提供年月	コード値	6	過誤申立の対象となるサービス提供年月(西暦年月(YYYYMM))を設定する	◎	※Y
7	申立事由コード	英数	4	過誤申立の事由コードを設定する	◎	※2 ※C

※1: 必須入力 ◎: 必須、○: 請求内容により必須、△: 任意設定、空白: 不要

※2: 申立事由コードは、4桁の英数字属性のコードとし、申立情報作成の都度入力を行う。

(1) 過誤申立事由コード構成(上2桁: 様式番号、下2桁: 申立理由番号)は、以下のとおり。

#### 【様式番号】(上2桁)

- 40: 障害児施設給付費明細書(様式第二)  
(サービス提供年月が平成24年3月まで使用)
- 41: 障害児通所給付費・入所給付費等明細書(様式第二)  
(サービス提供年月が平成24年4月以降使用)

#### 【申立理由番号】(下2桁)

- 01: 台帳誤り修正による都道府県等申立の過誤調整
- 02: 請求誤りによる実績取り下げ
- 09: 時効による都道府県等申立の取り下げ
- 11: 台帳誤り修正による事業所申立の実績取り下げ
- 32: 提供実績記録票 **取消誤り** による実績の取り下げ
- 33 上限の誤りによる実績取り下げ
- 90: その他の事由による台帳過誤
- 99: その他の事由による実績の取り下げ

(2) 明細書を過誤とした場合は、サービス提供実績記録票および処遇改善助成金(※3)も過誤とする。

(3) 利用者負担上限額管理結果票は過誤対象ではなく、事業所インタフェースで修正/取消を行う。

(4) 請求支払額確定後の利用者負担上限額管理結果票の修正はエラーとなるが、利用者負担上限額管理票を修正する場合は、過誤申立を行い、請求明細書と利用者負担上限額管理票を再度提出する。

※3: サービス提供年月が平成24年3月までの処遇改善助成金。

※B: 「インタフェース仕様書 都道府県編 II. 障害児支援 2.2 インタフェース一覧」参照。

※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

## 【インタフェース仕様書（市町村編）】

## ⑦ 補装具費支給レコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B	
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	※2	
3	レコード種別コード	コード値	2	07を設定する(補装具費支給レコード)	◎		
4	給付実績情報 作成区分コード	コード値	1	給付実績情報の作成区分を出力	◎	1:新規 2:修正 3:取消	
5	算定年月	コード値	6	補装具を支給決定した年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	※Y	
6	証記載市町村番号	コード値	6	受給者証記載の都道府県等番号、または受給 者証記載の市町村番号を設定する	◎		
7	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号を設 定する	◎	※C ※3	
8	受給者証番号種別	コード値	1	受給者証番号の種別を設定する	◎	1:障害者 自立支援 法に基づ く受給者 証番号 2:児童福 祉法に基づ く受給者 証番号 ※4	
9	補 装 具 情 報	氏名(漢字)	漢字	40	氏名(漢字)を設定する	⊖△	※5
10		郵便番号	コード値	7	郵便番号を設定する	⊖△	※5
11		住所(カナ)	英数	75	住所(カナ)を設定する	⊖△	※5
12		住所(漢字)	漢字	128	住所(漢字)を設定する	⊖△	※5
13		電話番号	英数	15	電話番号を設定する	⊖△	※5
14	利用者負担上限月額	数値	6	補装具の利用者負担上限月額を設定する	◎		
15	利用者負担額	数値	6	補装具の利用者が負担した金額を設定する	◎	※6※5	

- ※1: 必須入力(入力識別番号毎) ◎: 必須、○: 請求内容により必須、△: 任意設定、空白: 不要
- ※2: 「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換業務 1.3.1(1)入力識別番号一覧」参照。
- ※3: 障害者の場合は、本人の受給者証番号を設定する。なお、障害者の場合で、障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス費及び地域相談支援給付費を併給しており、それぞれの受給者証番号が異なる場合は、障害福祉サービス費の受給者証番号を設定する。  
障害児の場合は、保護者の受給者証番号を設定する。なお、障害児の場合で、障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス費及び児童福祉法に基づく障害児給付費を併給する場合は、いずれかの受給者証番号を設定する。
- ※4: 障害者で障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス費を受給している場合は、「1」を設定する。  
障害児で児童福祉法に基づく障害児給付費を受給している場合は、「2」を設定する。障害児で障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス費を受給している場合は、「1」を設定する。なお、障害児の場合で、障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス費及び児童福祉法に基づく障害児給付費を併給する場合は、「1」、「2」のいずれかを設定する。
- ~~※5: 障害福祉サービス、または障害児支援の受給者ではない場合に設定する。~~
- ※6※5: 利用者が補装具の総費用額を全て自己負担し、償還払いとなるケースの場合、総費用額を設定するのではなく、本来利用者が負担すべき費用を設定する。
- ※B: 「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換業務 1.2 インタフェース一覧」参照。
- ※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。
- ※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。
- ※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

